

カンガルーシップ活動
ネイバーサポートプロジェクト
実施報告書

報告日	平成31年2月21日
学校名	岐阜大学教育学部附属学校
PTA会長名	岡本 達明

実施概要	実施活動名	教養委員会・特別支援教育委員会 合同企画 教養講座
	実施日時	平成30年12月17日
	実施場所	岐阜大学教育学部附属学校 大会議室
	実施目的	発達障害の子の脳に効果的な影響を与え、かかえる困難を減らす可能性のある音楽療法を体感し学び、共生社会を考える
	実施内容	音楽療法士でありヴァイオリニストの濱島秀行氏によるワークショップ
	実施方法	全家庭に教養講座の案内を配布し、保護者の参加を募った
	参加人数	保護者、教職員約50名

報告事項	内容	音楽療法士・ヴァイオリニストの濱島秀行氏に、日頃活動されてみえる認知症専門デイケアや終末期医療の現場でのお話、ヴァイオリンによるクリスマスソングを中心とした演奏をして頂き、障害のあるなしに関わらず、共に暮らす社会を築き上げるための相互理解をしながら、ワークショップを楽しみました。また、発達障害の主な特徴となる、人とのやり取り、言葉によるコミュニケーション、行動すること、感情の安定に役立つ音楽療法を体感して頂くことで、発達障害の理解を深めて頂きました。講座後、参加者の皆さんにアンケートを実施を致しました。
	結果	演奏の途中では、参加者数名に打楽器、その他の参加者は手拍子で、参加者全員で一つの音楽を作り上げるという、普段なかなか交流する機会のない通常、特支学級の保護者の皆様が、垣根を越えた一体感のある空間を作ることが出来、とても有意義なひとときでしたし、多くの保護者の方が大変楽しんでおみえでした。多くのアンケートを頂き、「音楽がこれほどまでに脳に良い効果をあらわすとは知らなかった」「障害に対する理解が深まった」など、これからの向き合い方や社会的理解、支援を深める良い機会となりました。感想は、別紙に紹介いたします。
	所感	共生社会への理解を深めていくために、今年度は音楽療法を用いたワークショップの講座を実施しました。保護者の多くの方から、障害のあるなしに関わらず、子を育てる同じ親として、お互いに寄り添って関わりをもつことの大切さを感じることが出来る、とても良い機会となりました。今後もいろいろな講師の方をお招きして継承していきたいです。



添付書類

参加感想、収支決算報告、領収書添付用シート

提出日 平成31年2月21日

学校名 岐阜大学教育学部附属学校

カンガルーシップ活動 ネイバーサポートプロジェクト 参加感想

- ・発達障害の子のいるご家庭の大変さが少しわかりました
- ・子を育てる親同士、今後いろいろと話しができる機会があると嬉しいです
- ・子ども達にも聞かせてあげたかったです
- ・情熱大陸やクリスマスソング等、なじみのある曲が聞けて楽しかったです
- ・打楽器の演奏、とても気持ち良かったです
- ・音楽が脳にとっても良い効果をもたらすことが知れて、学びばかりでした
- ・音楽療法に興味が出てきました
- ・音楽はどんな人も幸せにするんだなと実感させて頂きました
- ・濱島さんのお人柄が素敵でした
- ・小さなお子様も一緒に楽しめるのは、音楽の力はすごいなと思いました
- ・また開催してほしいです
- ・ヴァイオリンの生演奏ははじめてでしたが、とても心地よい音色でした
- ・特支の子ども達と一緒に音楽を楽しむことができました